

平成28年度伴走型小規模事業者支援推進事業

飲食店における新商品開発に関するアンケート調査の概要

(需要動向調査)

平成28年7月

矢板市商工会

■調査結果の総括

(1) カレーライスの調査結果について

【現状分析】

カレーライスの味の好みは、回答者のおよそ半数（47%）が「中辛口」と回答しており、よく食べられているカレーライスは、「ビーフカレー」「ポークカレー」で、3人に1人は、「ビーフカレー（32%）」もしくは「ポークカレー（32%）」を選んでいる。

二番目、三番目によく食べられているカレーライスの回答では、「ビーフカレー」「チキンカレー」「ポークカレー」「無回答」の割合が比較的高く、よく食べられているカレーライスは、一番目の回答と同様にオーソドックスなカレーライスが選ばれている。また「無回答」の回答率も高いことから、同一のカレーライスが食べ続けられている傾向があると考えられる。

性別や年代別での傾向を見てみると、男性では「ビーフカレー（40%）」女性では「ポークカレー（38%）」が最もよく食べられているカレーライスとなっており、男性女性各年代における傾向もほぼ同様な結果となっている。しかし「60代以上の女性」からは「ビーフカレー」が最もよく食べられているカレーライスとなっている。

外食された際の一人当たりの平均金額は、「736円」で、最も多い回答は「800円」だった。

福神漬以外のトッピングについては、回答者のおよそ半数が「ラッキョウ（51%）」と回答している。

【需要予測】

今後食べてみたいカレーライスとして、「インド風カレー（15%）」「スープカレー（13%）」「キーマカレー（12%）」「グリーンカレー（12%）」が選ばれている。

二番目、三番目に今後食べてみたいカレーライスも一番目の回答とほぼ同様な回答となっており、そこに「無回答」が加わった程度である。

性別や年代別での傾向を見てみると、男性では「インド風カレー（19%）」女性では「スープカレー（16%）」が今後、最も食べてみたいカレーライスとなっているが、各年代における傾向は、「インド風カレー」「スープカレー」「キーマカレー」「グリーンカレー」「ビーフカレー」が上げられ、各年代別に様々な特色が出た結果となっている。

現在「レコメンド」といった利用者の好みにあった商品やサービスを推薦する手法があり、現在よく食べられている「ビーフカレー」と「ポークカレー」の回答者の傾向を深く分析することで、今後の需要予測に役立てたい。

「ビーフカレー」と回答した回答者の3人に1人は、二番目によく食べられているカレーライスは、「ポークカレー（34%）」を選んでいる。また今後食べてみたいカレーライスでは、およそ2割の回答者が「ビーフカレー（20%）」を選んでいる。

「ポークカレー」と回答した回答者では、3人に1人が、二番目によく食べられてい

るカレーライスは、「チキンカレー（34%）」を選んでいる。また今後食べてみたいカレーライスでは、「スープカレー（16%）」を選んでいる。

、これまでの結果により、矢板市内の飲食店では、オーソドックスなカレーライスのメニューを中心に提供されていると考えられるため、カレーライス専門店でも取り扱っているようなメニューに対する潜在的な需要があると推測される。また「ビーフカレー」と「ポークカレー」については、各回答における回答率が高いことから、今後さらなる改良により安定的なメニューになると考えられる。

（2）ラーメンの調査結果について

【現状分析】

好きな麺のタイプは、回答者のおよそ6割が「ちぢれ麺」を選んでいる。その中でも「細麺（21%）」と「中太麺（21%）」が良く選ばれている。

スープの味の濃さと脂の量の好みは、回答者のおよそ6割が「普通」を選んでいる。

最もよく食べられているラーメンは「醤油ラーメン」で、回答者のおよそ4割が選んでいる。

二番目、三番目によく食べられているラーメンの回答では、「塩ラーメン」「醤油ラーメン」「味噌ラーメン」「無回答」の割合が比較的高く、よく食べられているラーメンは、一番目の回答と同様にオーソドックスなラーメンが選ばれている。また「無回答」の回答率も高いことから、同一のラーメンが食べ続けられている傾向があると考えられる。

性別や年代別での傾向を見てみると、男性女性ともにおよそ4割の回答者が「醤油ラーメン」を選んでいる。各年代における傾向は、30代未満の男性では、「塩ラーメン」、女性では「味噌ラーメン」の割合が高く、40歳代以上になると男性女性ともに「醤油ラーメン」の割合が高くなっている。

ラーメンに欠かせない最も割合の高いトッピングは「ネギ」で、回答者のおよそ4割を占めており、「チャーシュー」「味玉子」「メンマ（しなちく）」の割合も比較的に高い。

外食された際の一人当たりの平均金額は、「738円」で、最も多い回答は「800円」だった。

【需要予測】

今後食べてみたいラーメンとして、「魚介系ラーメン（28%）」「塩ラーメン（15%）」「家系ラーメン（14%）」が選ばれている。

二番目、三番目に今後食べてみたいラーメンも一番目の回答とほぼ同様な回答となっており、そこに「無回答」が加わった程度である。

性別や年代別での傾向を見てみると、男性女性のおよそ3割が「魚介系ラーメン」を今後、最も食べてみたいラーメンとなっており、女性においては各年代を通して「魚介系ラーメン」の割合が高い。しかし男性については、各年代における傾向は様々な回答となっている。

ラーメンの「レコメンド」については、「醤油ラーメン」と回答した回答者のおよそ4割が、二番目によく食べられているラーメンを「味噌ラーメン(37%)」を選んでおり、今後食べてみたいラーメンでは、「魚介系ラーメン(25%)」「醤油ラーメン(21%)」を選んでいる。

ラーメンの「好きな麺」「スープの味の濃さ」「脂の量」についての最適な組み合わせは、「ちぢれ細麺」でスープの味の濃さ、脂の量は、「普通」となっている。

「ポークカレー」と回答した回答者では、3人に1人が、二番目によく食べられているカレーライス、「チキンカレー(34%)」を選んでいる。また今後食べてみたいカレーライスでは、「スープカレー(16%)」を選んでいる。

、これまでの結果により、カレーライス同様、矢板市内の飲食店では、オーソドックスなラーメンのメニューを中心に提供されていると考えられるため、「魚介系ラーメン」のような差別化を図ったメニューに対する潜在的な需要があると推測される。また「醤油ラーメン」については、各回答における回答率が高いことから、今後さらなる改良により安定的なメニューになると考えられる。

(3) 高級カレーライス、高級ラーメンの調査について

「高級カレーライス、高級ラーメンといった商品を食べてみたいですか」の質問に対し、およそ6割の回答者が「はい(63%)」と回答しており、高級カレーライスを実際に注文される場合に出せる金額の平均は「1,557円」で、最も多い回答は「1,000円」だった。高級ラーメンを実際に注文される場合に出せる金額の平均は「1,577円」で、最も多い回答は「1,000円」だった。

以上

- ◆ 矢板市内の飲食店で、今後こういったメニューを提供してもらいたい、こういったサービスを受けてみたいなど、何かご意見、ご要望などありましたらお聞かせください。（自由回答）」

結果

1人1杯目は無料、食べ放題
30分で無料！！てきな！？
60才以上高齢者に粗品等
Café ぽいもの
アップルカレーについては、新たなバージョンを発売してほしい（アップルカレーレシ ピコンテストの開催等を通じて）
あまり行って見たことがないから分からない
家系のラーメン屋をふやしてほしい
居酒屋
イタリアパスタ（和風含）矢板の特産をもっとアピール？
飲食店が全体的に高めの印象をうけます。安くておいしいものがたくさん食べられたら いいですね。たとえば長峰公園に行くついでとか・・・
大盛りのお店
おさらに好きなだけもって1000円ランチとかあるとうれしい
おしゃれなカフェがあるといい
カレーラーメン
カレーラーメンを作る
キッズルーム有り。
グリーンカレー
ケーキバイキング
ご当地ランチを提供する
子供がいても気軽に入れる、座席がある、キッズメニュー
子ども達が喜ぶメニューをお願いします
子供連れでゆっくりたべれると嬉しい。お野菜たっぷり、お茶の種類が多い。
好みのトッピングがお願いできれば
サラダバー
ソバダンゴなど
たこ焼き専門店
デカ盛り（値段は高すぎない程度1500円くらい）
天然かき氷

特になし
特になし
特になし
特になし
トッピング無料、バイキングのお店
土日ランチをやってほしい、たべほうだい
那須弁のような共通のテーマで各店の味を楽しめる企画があると嬉しいです
バイキング
広い駐車場
ヘルシー食堂（タニタ的）
目玉になるような特別な物があれば食べに行きたい、やっぱり行列ができる様な所
矢板でなくては食べられないメニューの開発。おいしから矢板へ行こうとならば最高
焼きカレー
野菜中心の定食
安く提供してもらいたい
ラーメン専門店5店舗ぐらいを作る
ラーメン横丁があると色々食べれて良いと思います
リーズナブル（安い）ランチ、ひと口づつの小鉢の多いランチ
りんごラーメン

【作成/監修】

〒324-0054

栃木県大田原市若松町 505-1 柴田若松コーポ 103 号

株式会社ネオクラシック 中小企業診断士 柴田 幸紀